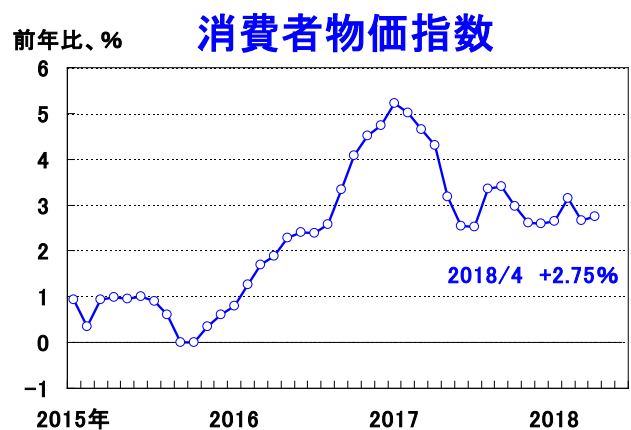
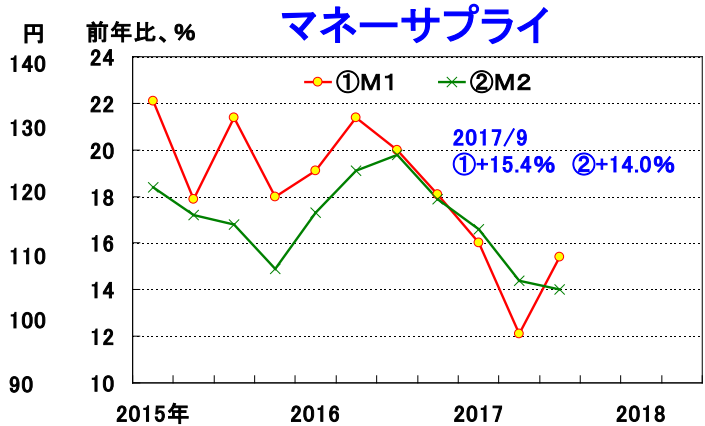
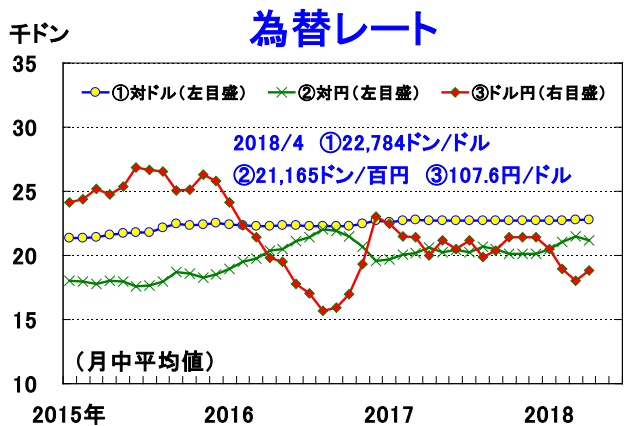
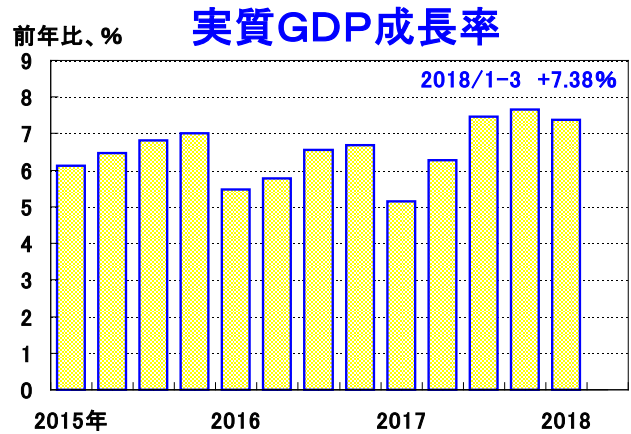
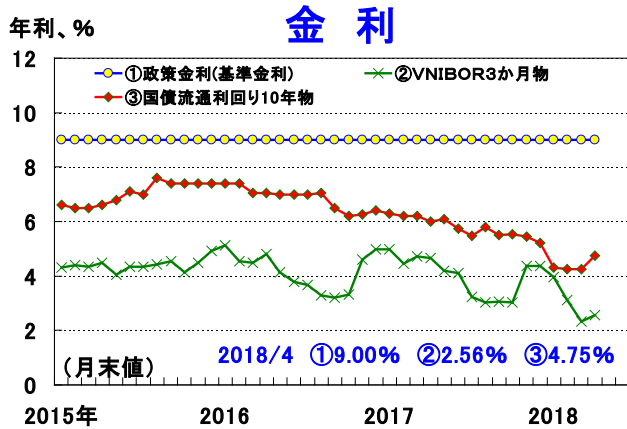


グラフで見るベトナム経済 2018年5月号(No. 100)

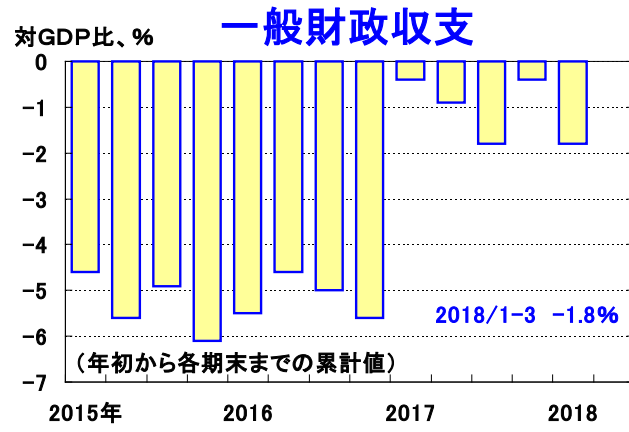
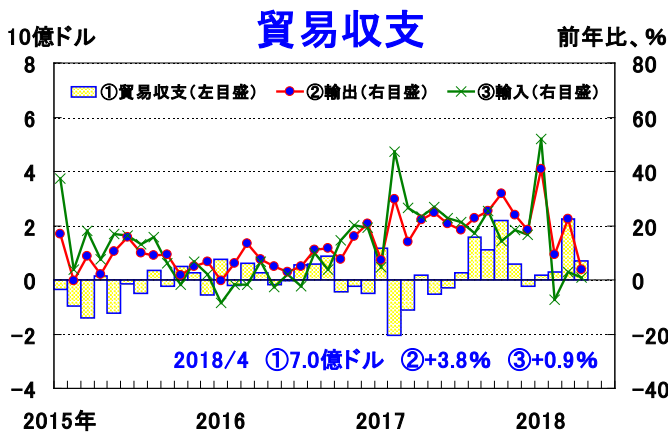
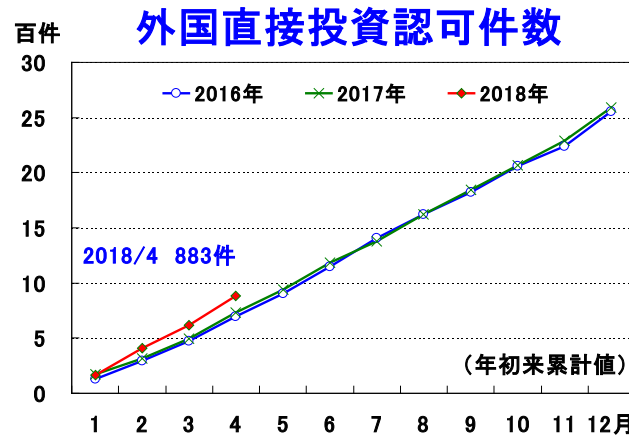
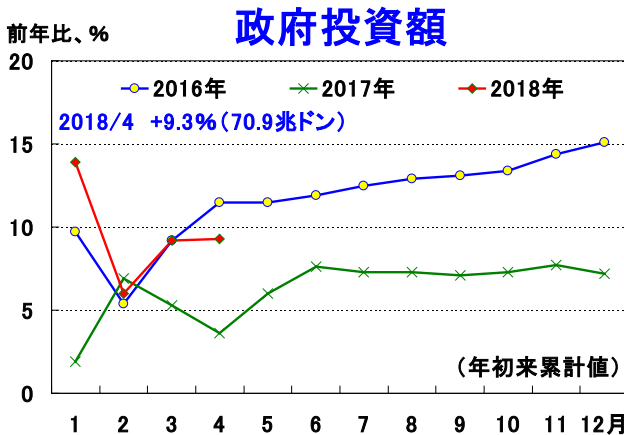
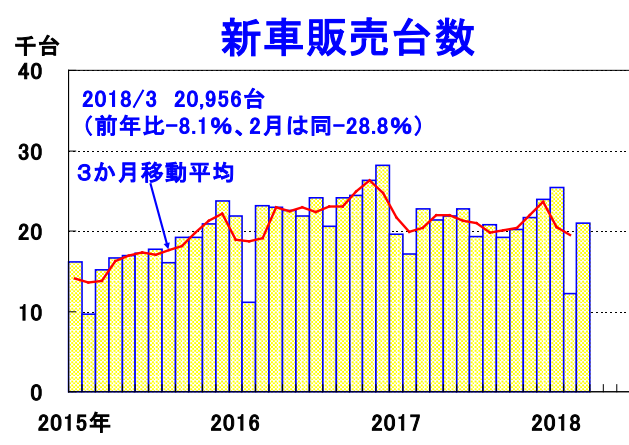
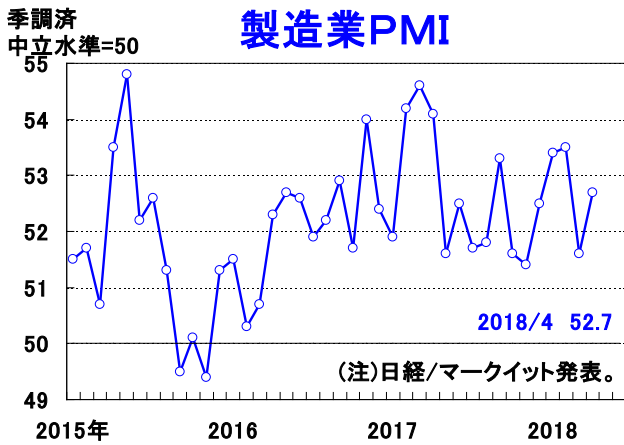
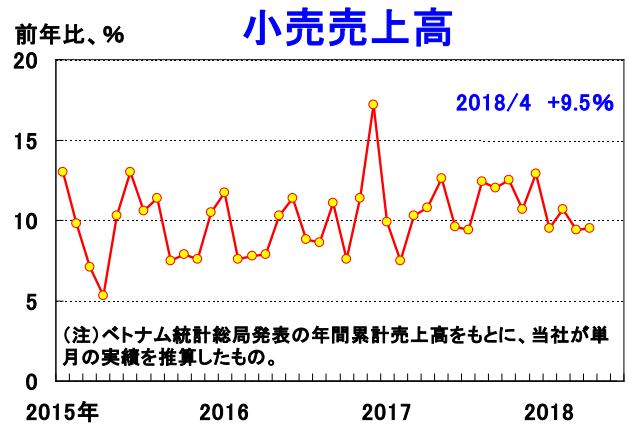
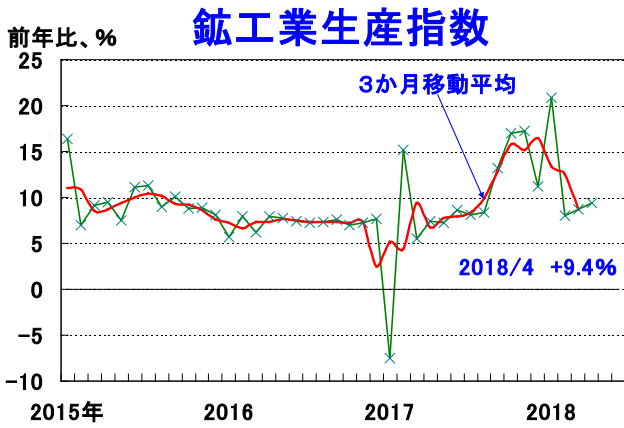
ベトナム経済は回復基調が持続している。4月の鉱工業生産は前年比+9.4%と前月の伸び(同+8.7%)を上回った。業種別にみると、コンピューター、電子・光学製品(3月:前年比+20.2%→4月:同+14.9%)が減速したものの、衣類(3月:同+12.4%→4月:同+16.5%)は増勢を拡大し、電気設備(3月:同-1.4%→4月:同+8.9%)も増加に転じた。4月の製造業PMIも52.7と、「生産」や「新規受注」の好調などにより、29か月連続で中立水準の50を上回った。家計部門に関しても、同月の小売売上高が前年比+9.5%と底堅く推移している。



【今月のトピック: 電子商取引が25%以上成長】 ベトナム電子商取引協会によると、2017年のベトナムの電子商取引は25%以上増加した。ベトナムは人口に占める若者の割合が相対的に大きく、インターネットの利用時間も週約25時間とアジア諸国のなかでは長い。これらが、電子商取引の高成長の背景となっている。一方、今後、電子商取引の拡大を図るうえでは解決すべき問題もある。一つは道路をはじめとしたインフラ整備が遅れており、物流コストが割高となっていることである。この他に、信頼性の高いオンライン決済方法を普及させることも大きな課題となっている。

(出所) ベトナム国家銀行 (SBV)、ベトナム統計総局 (GSO)、CEIC、ブルームバーグ

本レポートの目的は情報の提供であり、何らかの行動を勧誘するものではありません。本レポートに記載されている情報は、浜銀総合研究所・調査部が信頼できると考える情報源に基づいたものですが、その正確性、完全性を保証するものではありません。ご利用に関してはお客様ご自身で判断くださいますようお願いいたします。本レポートは情報提供のみを目的として浜銀総合研究所・調査部が作成したものであり、横浜銀行との何らかの取引を勧誘するものではありません。



(出所) ベトナム統計総局 (GSO)、ベトナム自動車工業会、ベトナム国家銀行 (SBV)、IMF、CEIC、ブルームバーグ

本レポートの目的は情報の提供であり、何らかの行動を勧誘するものではありません。本レポートに記載されている情報は、浜銀総合研究所・調査部が信頼できると考える情報源に基づいたものですが、その正確性、完全性を保証するものではありません。ご利用に関してはお客様ご自身で判断くださいますようお願いいたします。本レポートは情報提供のみを目的として浜銀総合研究所・調査部が作成したものであり、横浜銀行との何らかの取引を勧誘するものではありません。